

◆
耐候性が向上し、建物の長寿命化に貢献

1 成分形ポリサルファイド系シーリング材「SC-500SL」新発売

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は湿気硬化型 1 成分形のポリサルファイド系シーリング材「SC-500SL」を7月に発売する。ポリサルファイド系シーリング材は目地周辺の汚染が少なく美観性に優れるため、ビルやマンションのタイル目地、石目地などに多く使われる。同商品の特長は、ポリサルファイド系シーリング材としては従来品に比べ高いレベルの耐候性を実現したこと。これにより建物の長寿命化に貢献し、修繕時の省力化やコスト削減などを図ることができる。

従来のポリサルファイド系シーリング材は経年劣化により表面にひび割れや白亜化（チョーキング現象）が発生するため、定期的に改修工事を行い防水機能を保持していた。「SC-500SL」は今回、成分構成を見直すことで大幅に耐候性を向上させ、耐久性の長期化を実現した。経年劣化の度合いを測定する耐候性促進試験では、10年間の使用に相当するとされるサンシャインウェザーオメーター照射 3000 時間を経過した状態でも美観を維持し、耐候性に定評のあるシリコン系シーリング材に迫るレベルを達成している。

さらに、ポリサルファイド系シーリング材はブリード現象※が発生しやすいが、今回可塑剤による汚染のないノンブリードタイプにし、シーリング材の上から塗装することを可能にした。また、湿気硬化型の 1 成分形シーリング材は表面から固まるため、目地が深い場合内部が硬化するのに時間がかかるが、同商品は硬化剤を工夫し硬化時間の短縮を図っている。こうした利点に加え、1 成分形にしたことで主剤と硬化材を現場で混ぜる手間も省けるなど作業性も向上し、施工効率がアップした。金属やコンクリートなど幅広い素材への接着性能にも優れ、日本工業規格（JIS）の JIS A 5758 F-20LM-8020（PS-1）に適合しているとして JIS マークを取得。環境にも配慮し、日本シーリング材工業会の認定でホルムアルデヒドを放散する建材材料では最も放散量が少ないことを示す「JSIA F☆☆☆☆」を取得している（登録番号 027044）。

※ブリード現象…成分に含まれる可塑剤が塗膜へ染み出し、黒ずみやべたつきを発生させる現象



SC-500SL の荷姿



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

◆
横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

◆
THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570